

2021年6月8日

各位

三菱UFJ信託銀行株式会社

「第3回プラチナキャリア・アワード」への取り組みについて

三菱UFJ信託銀行株式会社(取締役社長 ^{ながしま いわお}長島 巖)は、未来共創イニシアティブ(株式会社三菱総合研究所が運営)とともに、株式会社東洋経済新報社の協力のもと、厚生労働省、株式会社東京証券取引所の後援を得て、「第3回プラチナキャリア・アワード」を企画いたしました。

「プラチナキャリア・アワード」とは

人生100年時代、年齢を問わず自己の成長や所属する企業の発展、ひいては社会課題解決を目指し、自律的に学び・経験を通じてスキルを磨き、得られたスキルを存分に活かして活躍していくキャリア(「プラチナキャリア」)が期待されています。

プラチナキャリア・アワードとは、社員のプラチナキャリア形成、発揮の環境を整備し、推進している企業を表彰するもので、2019年から実施しております。

今般、有識者による審査委員会(座長 株式会社三菱総合研究所小宮山宏理事長)において、第3回プラチナキャリア・アワードの受賞企業が決定したことを受け、本日、表彰式および記念シンポジウムを開催いたします。詳しくは、以下の専用サイトをご覧ください。

<https://platinumcareer.mri.co.jp/> (三菱総合研究所のサイトになります)

70歳までの就業機会確保の努力義務が規定化されるなど働く期間が長期化している一方、DXなどの技術革新による産業構造変革も加速しています。また、コロナ禍はこれまでの仕事のあり方を大きく見直す契機となりましたが、これからはSDGsの視点で社会課題解決を意識した新たな働き方も強く求められています。

このように社会全体が大きく変わる中、企業価値の向上のため、多様な働く機会の提供のため、ひいてはサステナブルな社会の実現のためには、日本企業において社員のプラチナキャリアの形成、発揮は喫緊の課題です。

三菱UFJ信託銀行では、「安心・豊かな社会」の実現にお役に立てるよう、今後もこのプラチナキャリアに関する取り組みを皆さまと一緒に推進してまいります。

以上